

令和 8 年 1 月 2 7 日開催

河南町議会委員会会議録

予算・決算常任委員会

河 南 町 議 会

予算・決算常任委員会会議録

開催年月日 令和8年1月27日（火）午前11時00分

開催の場所 全員協議会・委員会室

出席委員 （9名）

委員長	大 門	晶 子	副委員長	高 田	伸 也
委 員	佐々木	希 絵	委 員	藤 野	裕 子
〃	ポープ	三 恵	〃	藤 井	祥 代
〃	河 合	英 紀	〃	中 川	博
〃	力 武	清			

欠席委員 （0名）

職権による出席者

議 長 浅 岡 正 広

説明のための出席者

町 長	森 田 昌 吾
副 町 長	江 島 芳 孝
教 育 長	中 川 修
防 災 監	谷 道 広
政 策 総 務 部 長	多 村 美 紀
政策総務部理事（まちづくり戦略担当）兼まちづくり秘書課長	中 海 幹 男
すこやか生活部長兼総合保健福祉センター長	渡 辺 慶 啓
ま ち 創 造 部 長	安 井 啓 悦
ま ち 創 造 部 理 事	久保田 篤
政策総務部副理事兼自治防災課長	藤 木 幹 史
政策総務部副理事兼総務課長併選挙管理委員会事務局長	田 中 啓 之
政策総務部副理事兼人事財政課長	後 藤 利 彦
すこやか生活部高齢障がい福祉課長	安 達 信 介
すこやか生活部健康づくり推進課長	山 田 恵
まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長	森 弘 樹
まち創造部副理事兼都市環境課長	池 添 謙 司

(教育委員会事務局)

教 育 部 長

和 田 信 一

教・育部副理事兼こども1ばん課長

渡 辺 恵 子

教・育部学校給食センター所長

浅 井 明 郎

※各所属課の係長級以上も説明員として出席する

議会事務局職員出席者

理 事 兼 事 務 局 長

大 門 晃

課長補佐兼庶務係長

吉 田 高 朋

付 託 議 案 議案第40号 令和7年度河南町一般会計補正予算（第8号）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

審 査 の 経 過

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

午前 11 時 00 分開会

○大門委員長

では、おそろいですので、ただいまより予算・決算常任委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は 9 名であります。

河南町議会委員会条例第 14 条の規定により、定足数に達しておりますので、これより予算・決算常任委員会を開会いたします。

この委員会の傍聴ですが、委員会条例第 17 条の規定により、3 階議会事務局前ロビーで委員会の模様をテレビモニターにより視聴していただきます。

なお、委員会の休憩中は音声を出さないことといたします。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○大門委員長

先ほどの臨時会議において当委員会に付託を受けた案件は、議案第 40 号、令和 7 年度河南町一般会計補正予算（第 8 号）の審査についてであります。

委員会に対する町長からの説明員の通知は、議長宛てに回答がありましたので、タブレット 663、令和 8 年 1 月 27 日予算・決算常任委員会のフォルダに送信しております。

なお、説明員の補佐として、必要に応じて課長補佐、係長の説明も認めておりますので、ご了承ください。

補正予算の説明については、歳入歳出一括して理事者より説明を願い、質疑をお受けしたいと思います。

補正予算の質疑が終了後、討論、採決に入りたいと思います。

ここで、委員長より一言申し上げます。

発言される方は、挙手をして、指名を受けてから発言願います。次に、委員の質疑については簡潔明瞭に願い、理事者は質疑の内容を十分に把握され、的確な答弁をお願いいたします。また、委員及び理事者は、必ず補正予算書のページを述べてください。

スムーズに委員会が進行しますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○大門委員長

ここで、委員会の開会に当たり、町長より挨拶の申出がありましたので、これをお受けいたします。

森田町長。

○森田町長

おはようございます。

先ほどの本会議に続きまして予算・決算常任委員会開催、ありがとうございます。

先ほどの本会議において委員会に付託されましたのは議案第40号でございます。令和7年度河南町一般会計補正予算（第8号）の補正予算でございますので、審議賜りますようよろしくお願いします。

担当のほうからご説明申し上げますので、ご可決賜りますようよろしくお願いします。

以上です。

○大門委員長

町長の挨拶が終わりました。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○大門委員長

それでは、議案第40号、令和7年度河南町一般会計補正予算（第8号）の審査に入ります。

歳入歳出一括して説明をお願いいたします。

後藤人事財政課長。

○後藤政策総務部副理事兼人事財政課長

改めましてですけれども、タブレットのほうをご案内させていただきますと、667の令和8年1月20日議案送付（1月臨時）の議案一式の中の01、令和8年河南町議会1月臨時議会資料の27ページのほうをご覧いただきたいと思います。

第1表の歳入歳出予算補正、それから第2表、債務負担行為補正、繰越明許費の補正につきましては、先ほどの本会議場におきまして政策総務部長のほうからご説明させていただきましたので、歳入歳出予算の内容について、27ページの事項別明細書のほうでご説明をさせていただきます。

歳入のほうからご説明いたします。

まず、（款）地方交付税、（項）地方交付税、（目）地方交付税ですが、今回の補正予算

で不足する財源の補填として普通交付税949万5千円を追加しております。

次に、（款）国庫支出金、（項）国庫補助金、（目）総務費国庫補助金の地方創生臨時交付金1億9,140万6千円の追加は、国の補正予算（第1号）で措置されました物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の本町の交付限度額を計上しております。物価高騰対策として、歳出で補正しております関連事業費に充当させていただいております。

次に、（目）民生費国庫補助金の物価高対応子育て応援手当支給事業補助金4,792万円の追加は、子供1人当たり2万円を支給する物価高対応子育て応援手当支給事業に対する補助金で、補助率は10分の10であります。

次に、（款）諸収入、（項）雑入、（目）雑入の教職員等給食代69万5千円の追加は、歳出で補正しております学校給食の材料費につきまして、給食を食べておられる教職員などからの負担金の増を見込んでいるものでございます。

続きまして、28ページ、歳出でございます。

（款）民生費、（項）社会福祉費、（目）社会福祉総務費、（節）職員手当等、職員時間外勤務手当10万4千円は、物価高対応子育て応援手当の支給事務に必要な時間外勤務手当のほうを追加しております。次に、（節）負担金補助及び交付金、介護施設等物価高騰対策支援金455万円の追加は、町内の介護施設や障がい者施設等に対して物価高騰などの影響による支援を行うもので、施設の入所定員など、当該施設の規模や種類に応じて一定額の補助金を交付するものでございます。

次に、（項）児童福祉費、（目）児童福祉総務費4,781万6千円の追加は、0歳から高校3年生までの子供に1人当たり2万円を支給する物価高対応子育て応援手当の支給に必要な経費について追加しております。上から順に、（節）需用費31万1千円は、事務費として消耗品費や通知書の送付用の封筒の作成費等を追加しております。次に、（節）役務費36万円は、通知書の郵送料や口座振込手数料を追加しております。次に、（節）委託料676万5千円は、対象児童の抽出管理、口座情報の管理のためのシステム委託料を追加しております。次に、（節）負担金補助及び交付金の物価高対応子育て応援手当ですが、対象児童を2,019人と見込み、4,038万円を追加しております。

続きまして、（款）衛生費、（項）保健衛生費、（目）保健衛生総務費、（節）負担金補助及び交付金、医療機関等物価高騰対策支援金165万円の追加は、町内の診療所や薬局などに対して物価高騰の影響による支援を行うもので、施設の区分に応じて一定額の補助金を交付するものでございます。

めくっていただきまして、（項）上水道整備費、（目）上水道整備費、（節）負担金補助及び交付金、大阪広域水道企業団負担金3,420万円の追加は、8か月分の水道基本料金を全額免除とするため、水道企業団負担金のほうを増額させていただいております。

続いて、（款）農林水産業費、（項）農業費、（目）農業振興費、（節）負担金補助及び交付金、肥料価格等高騰対策支援金135万5千円の追加は、肥料価格等の高騰に伴う農業者の支援のため、大阪府で実施されます支援金制度を受給された農業者や法人に対して、町独自に大阪府支援金の2分の1に相当する額を補助するものでございます。

続いて、（款）商工費、（項）商工費、（目）商工業振興費1億5,100万6千円の追加でございますが、この（目）では、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者支援として地域通貨カナちゃんコインの関連事業費を追加しております。上から順に、（節）需用費81万7千円は、事務費として消耗品費やキャンペーン周知用のポスター等の印刷費を追加しています。次に、（節）役務費1,106万5千円は、通信運搬費、郵便料としてプリペイドカードの郵送料や口座振込手数料、それからクレジットカード等決済手数料を追加させていただいています。次に、（節）委託料のほうでは、地域通貨推進業務委託料として全住民への6,500円分のプリペイドカードの配布やポイント還元キャンペーン等の実施に係る費用として1億3,912万4千円を追加しております。

次に、（款）消防費、（項）消防費、（目）災害対策費、（節）委託料、防災リュック配布業務委託料297万円の追加ですが、物価高騰が影響し災害時の備えに困っておられる世帯への支援として、防災グッズ30点をセットした防災リュックの配布業務委託料の追加でございます。令和2年度及びそれ以降にも配布を行ってまいりましたが、まだ配布されていない世帯のうち希望する世帯に対して配布するものでございまして、500世帯分を見込んで予算計上をしております。

めくっていただきまして、（款）教育費、（項）保健体育費、（目）学校給食費、（節）需用費、賄い材料費586万5千円の追加は、食料品の価格高騰に伴う給食材料費の不足額を追加するものでございます。給食会計につきましては今年度から公会計化しており、物価高騰による影響額は本件補正予算のほうで増額させていただきまして、保護者負担につきましては引き続き無償化してまいるのでございます。

以上、簡単でございますけれども、補正予算の内容の説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○大門委員長

説明が終わりました。

これより委員の質疑を行います。——ポープ委員。

○ポープ委員

ページ29の商工費のカナちゃんコインプリペイドカードの件でお伺いします。

このプリペイドカードというのは今まで配布してきた緑のカードとまた違った感じのカードになると聞いておりますが、どういったものか、もう一度説明願えたらと思います。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

こちらのカードでございますが、6,500円分ということで使い切りというようなカードでございます。色も通常のカードと変えまして黄色の目立つようなカードにさせていただきまして、前面に二次元バーコード、QRコードのほうがついておるようなカードでございます。この6,500ポイント使えばそこでもう終了となるようなカードでございます。

以上です。

○大門委員長

ポープ委員。

○ポープ委員

ありがとうございます。

プリペイドカードということは、河南町のホームページのカナちゃんコイン加盟店販売所一覧の中でいうカードというところに丸が入っているところが対象の店舗という認識で合っていますか。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

委員おっしゃるとおりでございます。現在58店舗ございます。

○大門委員長

ポープ委員。

○ポープ委員

58店舗のカード利用可能な店舗で使えるということで、あと27店舗、アプリでしか使えない店ではこのプリペイドカード6,500円分は使えないということなんですけれども、今後、

そのことを知らずにアプリだけにしている店舗があるのであれば、カードも対応してもらわないと6,500円のプリペイドカードを住民の方に使っていただけませんよという周知をしていく予定はあるのかどうか、お願いします。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

委員おっしゃるように、町としましてはアプリへの移行を推進してまいりましたが、依然、やはり店舗の人員体制とか会社の方針等でカードでも対応していただけない店舗があるのは確かでございます。利用開始までに、できる限りカードでも対応できるよう働きかけのほうは行ってまいりたいと思っております。

以上です。

○大門委員長

ポープ委員。

○ポープ委員

今、カード利用可能な店舗が58店舗河南町であるんですけれども、この中でスーパーとかもあって結構使い勝手はいいんですけれども、やはり以前にも出てきたガソリンスタンドで使えたらいいとかそういった声もあって、ホームセンターもせっかく河南町にあるので、そういったところでも使えたらいいなと個人的には思っているんですけれども、そういった町民の方の要望というか、ここで使えたらいいなという働きかけは今後もしていくのかどうか、教えてください。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

委員おっしゃいますように、以前から住民の方からも要望はこちらのほうでも聞いておりましたので、何回も一応店舗のほうには働きかけておるんですけれども、特に今回、全住民対象ということで、またキャンペーンさせていただきますので、さらに働きかけのほうは開始前までにはしていきたいと思っております。

以上です。

○大門委員長

ポープ委員。

○ポープ委員

私、このカナちゃんコイン、すごく日常でも使っているんですけども、還元関係なく使っているんですけども、会計のときにカナちゃんコインは1会計につき1回でお願いしますというところがあるんですね。6,500円使い切りということは、例えばあと500円しかありません、1千円の買物をしました、でもそのカード使い切りで、また別のアプリで使いたいということができないので、そういった周知というか、1会計1回しか使えないという店側の要望も分かるんです、結構大変なので。なので、そういった使えると思ったのに使えなかったという声もあるとは思うので、その辺の周知もできる限りしていただければなという要望で締めさせていただくの、次、別の質問をこのまましてもよろしいのでしょうか。

○大門委員長

どうぞ。

○ポープ委員

すみません。

防災リュックの件、同じページの消防費の防災リュック配布事業委託料なんですけれども、これ500世帯に配布ということで、今年度というか前回も全部配布しないといけないという事情があつて、余剰分なく配り切ったと聞いているんですけども、今回も500世帯分用意して、それを全部配り切らないといけないという認識で合っていますでしょうか。

○大門委員長

藤木自治防災課長。

○藤木政策総務部副理事兼自治防災課長

防災リュックの配布方法というような形になるかと思うんですけども、まず、希望者に配布するという形になりますので、在庫を抱えることなく配布するという考えの下に、まず希望者に希望を出していただいて、それを月ごとに締めて、その月分を翌々月に配布すると。若干タイムラグは入るんですけども、余剰が出ないという形を考えております。

以上です。

○大門委員長

ポープ委員。

○ポープ委員

1世帯1個だけということで、私は過去にもらっているから私は対象じゃないと思うんですけども、例えば昔、河南町内のここに住んでいたけれども、違う地域に住んで住所が変

わっている世帯とかもまたもらえてしまうということはあるのか、教えてください。

住所が変わっているけれども同じ町民のままで、前はもらっていて、住所が変わっているから違う世帯という認識になってもらえちゃうのかとか、旧村から例えば鈴美台に行ったりとかという場合もあるので。

○大門委員長

藤木自治防災課長。

○藤木政策総務部副理事兼自治防災課長

町内移動という、住所移転という形やと思うんですけども、世帯ごとに前回配布した、していないというのは把握しておりますので、一旦配布している世帯については今回対象外という形になります。

以上です。

○大門委員長

ポープ委員。

○ポープ委員

ありがとうございます。

以上で取りあえず終わります。

○大門委員長

ほかに。

佐々木委員。

○佐々木委員

まず、28ページの子育て応援で0歳から高3まで2万円ということなんですけれども、これ、配布は世帯主に配布するということでもいいんですかね。

○大門委員長

渡辺こども1ばん課長。

○渡辺教・育部副理事兼こども1ばん課長

児童手当をもらわれている対象者の児童を扶養といいますか、養育している保護者のほうに支給という形になります。なので、児童手当を受給されている保護者という形になります。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

分かりました。

世帯主に限っていないということなんですけれども、ふだんの児童手当からDVによって住所を知られたくないとか、そういった家庭にもちゃんと配慮済みで、今回もそれは配慮していただけるという認識で合っていますか。それと、それであればどういう手法でやっていただけるのか、教えてください。

○大門委員長

渡辺こども1ばん課長。

○渡辺教・育部副理事兼こども1ばん課長

DV等で避難されている方については、その避難されている市町村のほうで届出を出していただいて児童手当というのは受給されているかと思うんです。今回2万円の給付につきましては9月分の児童手当を受給されている方が対象ですので、9月分の児童手当をもらわれている市町村のほうから支給されるという形になっています。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

分かりました。ありがとうございます。他市町村でうっかりと避難先を自治体の職員が漏らしてしまってどうこうということもございましたので、そういうことがないように是非よろしくお願いします。

それで次に、29ページの先ほどのカナちゃんコインのプリペイドカードの話なんですけれども、まず、クレジットカード等手数料280万円とあるんですけれども、これはどういうときに使う手数料なんでしょうか。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

こちらのほうは、クレジットカードを使用してチャージ等された場合、そちらに係る手数料、実際3.5%かかりまして、そちらに係る手数料でございます。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

これは河南町が払っていたんですね、そういえば。何にも考えなくクレジットカードから

やっていたけれども、そういうことなんですね。それ、もうちょっと周知していただけたら
なと思います。

これ、できたら個人商店を特に応援していただきたいと思うので、そのあたりの手法とか
は何か考えていますか。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

こちらのほう、今回補正させていただいている分には期間限定の恒例とさせていただいて
います20%ポイント還元キャンペーンも2回組ませていただいておりますので、こちらの期
間限定の20%ポイント還元キャンペーンのほうではふだん使われない事業所のほうでかなり
使われますので、そういったプリペイドカードの交付以外にもそういったキャンペーンをか
ますことにより、個人商店の事業者支援ということでしたいと思っております。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

そもそもこれは国の補助金の物価高対策ということで、物価高に対応するのでスーパーで
も何でも、大手でも何でもその意味で言ったらいいんですけれども、もともとカナちゃんコ
イン自体が地域の商店を応援する、地域の経済を活性化させるという趣旨でやっているの
で、そのどちらを今回重きに置くのかということですよ。

カナちゃんコインの趣旨を重視するのであれば、スーパーとか大手じゃなくて個人の商店
をもっと重点的に支援するべきなんじゃないかということなんですけれども、このあたりは
どのように考えていますか。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

実際、今85店舗ということで、加盟店のほうをどんどん増やして、この85店舗のほうをど
んどん増やしていったって個人事業者さんでも使えるような形にするような形で努力していきた
い、取り組んでいきたい、そういう形でございます。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

分かりました。要は、物価高と地域の経済の活性化は今回両立していくぞみたいなことですかね、よく分からへんけど。分かりました。

同じ29ページの防災リュックなんですけれども、これ、計算したら1つ6千円ほどで、送料も今回は込みということなんですけれども、前は丸々、町で買い取ってそれを配布するという形だったんですが、それと比べて費用はどのように上がっているのか下がっているのか、お伺いします。

○大門委員長

藤木自治防災課長。

○藤木政策総務部副理事兼自治防災課長

費用的には前回とほぼ同じと見ております。ただ、前は数が多いという事情がございましたので、個別でつけておりましたネームタグ、そういったところに河南町のマークを特別に入れていただいたりとかしていたんですけれども、今回、数が見込みとしてはそんなに前回に比べて多くございませんので、印刷代がべらぼうに上がってしまうということで今回断念しております。それを省きましたので、ほぼ同じかなと考えております。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

これ今回、地方創生、国の補助金で臨時交付金でやるじゃないですか。ということは、この事業も臨時でやるだけ、この500個で終わるという見込みなのか、臨時交付金を使うけれども恒久的にやっていく事業なのか、どっちなのかお伺いします。

○大門委員長

藤木自治防災課長。

○藤木政策総務部副理事兼自治防災課長

現在お答えできるのはこの事業のこのみになるんですけれども、実際500個というのはあくまで見込みでして、ここに至るまでは100個ぐらいじゃないかとか、もっといくんじゃないかとか、いろいろな意見はあったんですけれども、実際にこれ、希望を取ってみてやってみないことにはなかなか実際のニーズの近似値は出てこないかなと考えておりますので、実際に動き始めて、その後、何らかのニーズと見込みの乖離が大きいとか、逆にニーズのほうが少ないとかいうのがございましたら、改めて町の内部のほうで検討いたしまして、

改めて議会のほうにはご相談させていただけたらと考えております。

以上です。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

この防災リュックもやし30ページの給食の食材費もなんですけれども、本来、今までの議会答弁の趣旨で言ったら単費でやるものじゃないですか、この臨時交付金を利用してのものじゃないのかなと思うんですね。物価高対策でもらった交付金ということを考えても、材料費はもちろん物価高の影響はあるけれども、じゃそれを地域に還元するための使い道ではないじゃないですか。

ずっと昔に、原発の何やかんやの交付金を実は全然違うところの道に使っていたとかで、すごいニュースになったことがあったのもあって、そのあたり、使い道としてももちろん住民さんは喜ぶし、いいんやけれども、本来の使い方の趣旨とはちょっとずれるんじゃないかと私、町長、思うんですけれども、そのあたりどう思っていますか。

○大門委員長

森田町長。

○森田町長

今回の物価高騰対策の国の交付金の使い方としては全く問題ないというふうに考えています。なぜといいますと、これは物価高騰対策で当然、正当な値段での契約を事業者と締結していくと。町のほうから、やはりそれに対する値引きとかそういうような行為を適正な価格での契約も変更していくということを事業者の支援ということで、まずは給食の費用についてはそういう考えが主であるということでございます。給食は無償化ですので、もともとは保護者には求めないというふうに考えていますから、これは保護者支援という形ではないと考えています。

そういう点でいくと、防災リュックも含めて、防災リュックも当然ながら物価高騰で値上がりもしているので、その分で事業者と正当な価格での契約を締結するという意味での事業者支援ということで、しようというふうに考えておりますので、全く問題ないというふうに考えております。

なお、一応今回臨時交付金ですので、今回補正予算に上げた分については一応、今回の事業期間内で完了するというのを目標に努めるということで進めたいと思っています。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

地方創生臨時交付金の物価高対策ということなので、じゃ、フルの値引きをせずフルの金額で払う先というのはこの辺りのエリアの事業者なんですかね。何か昔、元気交付金もそうやったみたいに、あるお金をちょうどやっている事業にぼんぼんと当てはめる、言い方は悪いけど。という中の、この2つに関してはそのように見えるんですね。別にそれが犯罪やとかは思わへんけれども、本来の使い方とはちょっと違うんじゃないかと思うんですよ。

じゃ、この2つの事業者というのはこの辺りのエリアの事業者なんですか。

○大門委員長

森田町長。

○森田町長

確かにそういうふうに見えるかも分かりませんが、現計の予算の中で賄い切れない部分があるということですね、今給食費については。現計でいくとどうしても不足するということなので、今回こういう形で使わせていただくと。ただ、形的にはそういうふうに見える部分はあると思いますけれども、町としては適正にやっていきたいということで、今回補正予算をさせていただいたと。

防災リュックもそういう点では通常部分でいうところもありますけれども、やはりこの機に希望者には配っていききたいということで、予算化させていただいたということでご理解いただきたいと思います。

○大門委員長

佐々木委員。

○佐々木委員

すみません、最後です。

ちょっと苦しいなと思うんですけれども、一応理解しました。

あと、29ページの水道なんですけれども、これ、水道を減免してもらえるんですけれども、基本料金、29の一番上ね。これ、やったというのがやっぱり住民さんに見えにくいことがあるので、水道料金が来るビラの中に今回こんな理由で減免していますよ、この期間やりますよとか書いてほしいな、書けたらと思うんですけれども、そこはできないですかね。

○大門委員長

池添都市環境課長。

○池添まち創造部副理事兼都市環境課長

お申出の件は通知書というか細長いものかと思うんですけども、今回、大阪広域水道企業団、一括したシステムの中で発行されていますので、そちらができるかどうかというのはご相談はさせていただきますが、ちょっとのれない場合もあるかと思います。

以上です。

○大門委員長

ほかに。

中川委員。

○中川委員

まず、27ページなんですけれども、これはいつも言うているんですけども、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、略して重点支援地方交付金というのをまた変えていただきたいと思います。

それと、28ページなんですけれども、介護施設等の物価高対策支援ということで、これ、どれぐらいの事業者かということと、それと数ですね。それと、問題になった一須賀地区の障がい者施設があったと思うんです。そこは対象になるのかならないのか。

そして、同じページの下の医療機関の物価高騰ということなので、これはどれぐらいの医療機関の数かというのをまずお聞きしたいと思います。

○大門委員長

安達高齢障がい福祉課長。

○安達すこやか生活部高齢障がい福祉課長

施設数でございますけれども、まず介護系の施設で14施設ございます。障がい系の施設で17施設、対象がございます。合わせて31施設でございます。

それと、あと一須賀地区の例の障がい者施設の件なんですけれども、そちらの施設に向けてサービスを実施している箇所が、障がいの先ほど申し上げた17施設の中で対象が2施設ございます。こちらの2施設について支給対象とするかしないかというのは、今、庁内で議論中でございます。

以上です。

○大門委員長

山田健康づくり推進課長。

○山田すこやか生活部健康づくり推進課長

医療機関等の給付なんですけれども、医科、医院が7か所、歯科が3か所、薬局が5か所、施術所、鍼灸等が8か所の給付になっております。

○大門委員長

中川委員。

○中川委員

先ほどの介護施設等のほうなんですけれども、問題になっているのが、障がい者施設等ということで申請されなくて寄宿舍ということで申請されているからいろいろ問題が起こっているということで、寄宿舍にそしたら支給ということになってしまうのでまた検討ということなんですけれども、そこは入所されている方にとってはと思うんですけれどもね。やっぱり施設自体は、事業者自体はそういうことをやっておられるので、そこはちょっと検討していただいたほうがいいんじゃないかなと思いますので、またお聞きしたいと思うのと、それと次なんですけれども、29ページ、ほかの方も言われていたんですけれども、クレジットカード等手数料の支給とかいうところで通信費用とか郵便料とか、そういう部分で1,100万円かかっているということなんですけれども、ここは今後いろんな工夫ができないのかと。

例えばそういう何かそれを費用がかからない方法を考えていただく工夫は今度できないのかということをお聞きしたいのと、それと、そのまた上の先ほど水道の基本料金の無償化、これは私も言うていたのでそれはありがたいんですけれども、システム改修費で500万円かかるということなんですけれども、今回、多くの市町村が水道の基本料金の無償化というのはされると思うんですね。多くの市町村がされるということで、いつもシステム改修費と言われたら何かもう受け入れなければいけないような感じになってしまうんですけれども、そこは正当なそういう改修費かというののもちょっとお聞きしたいなと思います。

○大門委員長

3点ですね。

○中川委員

はい。

○大門委員長

安達高齢障がい福祉課長。

○安達すこやか生活部高齢障がい福祉課長

まず、先ほどの障がい者施設への給付の件なんですけれども、まず前提として、この寄宿

舎というものは対象となっておりません。寄宿舍に入所している方に対してサービスを行っている事業所2か所が対象となっております。それで、具体的に申し上げますと、2つのうちの1施設が生活介護施設、生活介護のサービスを実施しているところ、もう一つは居宅介護サービスを実施しているところ、こちらの2施設が対象でございます。

先ほど、予算要求上対象となっているが給付の対象となるかどうかということについてなんですけれども、ちょっと繰り返しになりますけれども、今検討しているところでございますので、先ほどご指摘いただいた点も踏まえまして検討していきたいと考えております。

以上です。

○大門委員長

池添都市環境課長。

○池添まち創造部副理事兼都市環境課長

水道基本料金の免除の手数料のほうですけれども、システム改修費用等で500万円を見込んでおります。この数字なんですけれども、水道企業団のほうにも確認しましたところ、前年もしくは前々年等で単独でやっているところには、前のときには800万円程度でお願いしているところというところもあって、今回については、現在のところ大阪広域水道企業団内のところにやるというふうに意思決定しているところが今5市あると。その他8市町村等の引き合いもあるというところで、500万円で、もう一律でお願いしたいということで聞いております。

以上です。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

先ほどの役務費、特にクレジットカード決済手数料のほうを何か工夫できないのかというところでございますが、実際、クレジットカードでの決済手数料のほうは3.5%でございますが、セブン銀行ATMでチャージされた場合の利用料としては1%で済むというところで、今現在セブン銀行のATMのチャージのほうを推奨したりしておりますので、そういったことで、できる限り手数料が安いほうで住民の方もチャージできて、こちらのほうも費用を抑えられるように引き続き取り組んでまいりたいと思っております。

以上です。

○大門委員長

中川委員。

○中川委員

29ページの防災リュックなんですけれども、先ほど藤木課長のほうから、既にもう所帯ごとで掌握しているから、そこで重複することはないというようなお答えをいただいていたと思うんです。例えば、親御さんのところでそういう防災リュックは既に受けておられるんですけれども、子供さんが結婚されて別の所帯ということになって河南町内に住まわれた方は対象になるのか、多分なると思うんですけれども、それはなりますね。

○大門委員長

藤木自治防災課長。

○藤木政策総務部副理事兼自治防災課長

世帯ごとに配布という形になっておりますので、それは対象になるかと考えております。

○大門委員長

中川委員。

○中川委員

30ページの学校給食の件なんですけれども、今回、材料費等の増加ということで586万5千円が上がっているんですけれども、今現状、学校給食のそういうメニューですね。それがちょっと減らしているとか質をちょっと落としているとかそういうこと、例えば私たち議会の議員のほうで給食を食べさせていただいたときなんですけれども、たまたま同じ日に富田林市のうちの孫の給食を見たら、向こうのほうやっぱり豪華やったんですね、たまたまかも分かりませんが。住民の方からもやっぱり河南町の給食はちょっと量的に少ないというようなこともお聞きしますので、物価高ということで食料費も上がっているということで、その辺、今回はこれで上がるからいいんですけれども、そういう制限されているようなことは現状あるのかどうか伺いたいと思います。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

委員ご質問の件なんですけれども、献立、メニュー等は従前と変わりなく行っております。

○大門委員長

中川委員。

○中川委員

従前からちょっと少なかったということで、河南町は現に。分かりました。理解しました。

以上で結構です。

○大門委員長

力武委員。

○力武委員

30ページ、給食費のことなんですけれども、材料代が上がっているからということで今回、補正580万円組まれていますけれども、実際、去年あたりの材料費等々の値上げはどれぐらいあったか教えてもらえますか。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

単価的に言えば、当初の1食単価を280円程度で低学年は組んでいたところ、304円程度、約10%の当初から物価高騰で値上がっているというところですよ。

○大門委員長

力武委員。

○力武委員

10%ほど高くなっているという判断ですけれども、今回の580万円ほどの補正予算はそれにどれくらい補填できる中身なんですか。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

委員仰せのことで聞かれているのは価格のほう、金額のほうでよろしいですか。

(「金額です」と呼ぶ者あり)

○浅井教・育部学校給食センター所長

すみません。

当初5,400万円上げていたところを児童生徒分で510万円、教職員の分が700万円組んでいたところを69万円という形でアップするような形ですので、ほぼ10%の不足額が出るということで、今回、物価高騰の分で補正を上げさせていただいております。

○大門委員長

力武委員。

○力武委員

それは、580万円補正を組まれていますけれども、これで全額マイナスの分を補填できるような金額じゃないということですよね。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

全額賄えるような形で補正を上げさせていただいております。

○大門委員長

力武委員。

○力武委員

ああそう。

それで、食料品の値上げ、そういうことなんですけれども、例えば食材を運ぶ運送屋さんが出てはりますやんか。ああいった運送代が上積みされているというようなことはなかったんですか。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

委員仰せのとおり、運送費の追加によって食材一つ一つの単価が値上がっているという部分は多くあります。

○大門委員長

力武委員。

○力武委員

ということは、さっき10%ほど値上がっているという話やったんですけれども、それは運送代なんかも含めての話なんですか。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

食材一つ一つの値段が上がっているんで、その運送代も含めて今回の補正額とさせていただいております。

○大門委員長

力武委員。

○力武委員

もう一つ聞きたいのは、調理に係る熱量ですね、ガス代とか電気代とか。そういった分の値上がりの影響というのはあるんですか。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

委員仰せのとおり、調理には灯油を使っておりますので、ガソリン代の高騰等もありましたので灯油の値段の単価が毎年上がっておるような状態です。

○大門委員長

力武委員。

○力武委員

令和7年度の予算書の関係で言ったら、水光熱費が大体1,400万円ほど計上されているんですよね。その1,400万円の中の分を入れたら実際この580万円の補正予算で賄い切れるのかなという疑問点があるんですけども、そのあたりはどうですか。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

光熱水費のほうは予算の範囲内で収まると見込んでおります。

○大門委員長

よろしいですか。

力武委員。

○力武委員

ということは、580万円の補正予算を組まれていますけれども、まだまだ給食費全体、保護者負担はないにしろ、センターの予算上はちょっとしんどいと受け止めているんやけれども、どういう認識でおられるのかお聞きしたいと思います。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

今年度の予算に関しては、賄い材料費のほうで物価高騰で不足が出るのは明らかですけれ

ども、それ以外については当初予算どおりでいけているところです。

○大門委員長

力武委員。

○力武委員

その賄い費かて予算上では6,600万円ほどかかっていますよね。その6,600万円ほどの中で調理、配送、配膳、それを委託されていますけれども、その値上げの動きというのはないんですか。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

力武委員お聞きの分は委託料の件でよろしいですか。

（「そうそう」と呼ぶ者あり）

○浅井教・育部学校給食センター所長

昨年度に公募で業者のほうを選定させていただいた際に過去5年間と今後5年間ということで契約しておりますので、その部分に関しては今年度、不足額というのは出ないようになっております。

○大門委員長

ほかに。

藤井委員。

○藤井委員

皆さんも聞いていただいているんですが、28ページ、民生費なんですけれども、0歳から高校3年生まで児童手当を受給している保護者ということなんですけれども、これは現状、児童手当をもらっている家庭と全く同じところが受給するんであれば、システム委託料に676万5千円ですか、これはこんなにかかるのは何でなのかをお聞きしたいです。

○大門委員長

渡辺こども1ばん課長。

○渡辺教・育部副理事兼こども1ばん課長

今回の手当支給に関しまして、10月児童手当支給の仕組みを使って手当を支給するということになっています。その中で9月児童手当を受給されている方が対象になっています。

児童手当というものは2か月に1回支給ということになりまして、10月支給に関しまして

は8月分と9月分がまたがっております。今、町で使用している分についてはその2か月分が混ざった状態で支給という形になっていきますので、9月分だけを抽出するというのがちょっと難しい状態になっております。そのため、今回抽出するツールとシステムを連携するために必要な金額となっております。

○大門委員長

藤井委員。

○藤井委員

ありがとうございます。

じゃ、この申請とかは必要なく、今受給している方はそのまま自動的にもらえるというか、通知が役場から送られてきたらもう申請も何もせずに口座に振り込まれると思っていいんでしょうか。

○大門委員長

渡辺こども1ばん課長。

○渡辺教・育部副理事兼こども1ばん課長

9月児童手当を受給されている方に関しましては、町のほうからご案内、お知らせ文書をお送りさせていただきまして、児童手当の受給口座のほうに自動的に振り込みさせていただくという形になっています。

○大門委員長

藤井委員。

○藤井委員

分かりました。

もう一点、29ページの商工費のところ、カナちゃんコインについてなんですが、ほかの委員さんも聞いてもらっていたと思うんですけども、今回、何か黄色のカードとおっしゃっていますけれども、今までの緑のカードは、アプリを使っていない方は緑のカードを継続して使っているのかなと思うんです。緑のカードを紛失してしまってアプリも使えないという方は現状どうされているのか、そういう問合せがあるのかどうかをお聞きしたいです。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

委員さん仰せのように、緑のカードの再発行のほうは今現在しておりませんでして、そう

いった問合せは少数でございますが、アプリへの登録、移行のほうを呼びかけておりまして、そのための支援は窓口でさせていただいているところでございます。

○大門委員長

藤井委員。

○藤井委員

それで問題なくアプリを使えるようになっているのであればいいんですけども、住民さんが。どうしても緑のカードがまだ必要という方について、今後対応される予定があるのかどうかお聞きします。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

今現在アプリのほうへの移行を推進しておりまして、例えば12月の期間中での利用でございますが、アプリのほうがほぼ90%に達しているということで、カードのほうは10%弱ということで、かなりアプリのほうに移行のほうは進んでおるところでございますので、町としては、DXの推進も含めまして、もうこちらのほうへかじを切るというところで行ってまいりたいと思っております。

以上です。

○大門委員長

ほかに。

中川委員。

○中川委員

30ページの学校給食費なんです。

先ほどお聞きさせていただいたんですけども、今回は物価高騰の対応ということで、いろんな食材費とかが上がっている中での補正予算ということで、重点支援交付金のあれということは町長も問題ないという話なんですけれども、先ほどもお聞きしたんですけども、町民の方から給食の内容のほうは量的にも、また内容的にもあまり豪華でない、ちょっとしょぼいと言うたら言い方があれなので、他市に比べてちょっと少ないような、また内容的にもあまりいいようじゃないというのをお聞きするんです。

例えば、2026年4月から小学校の給食費無償化、国のほうで決定しましたので、そこで補助という形で金額が入ってくると思うんで、ある程度財政的にもその分プラスになる可能性

があると思うんですけれども、そうなってきた場合、給食のメニューの内容とか少し工夫をしていただくというようなことも考えられているのかどうか、現状維持のままでもうずっといくのか、それともちょっと工夫していただいて満足していただくような方向になるのかどうか、伺いたいと思います。

○大門委員長

浅井給食センター所長。

○浅井教・育部学校給食センター所長

給食のメニューですけれども、他市町村のメニュー、献立を見ている限り、河南町が引けを取っているということは私はないというふうに感じております。量についても、確かに学年、男性・女性、いろいろな意見はあるかなと思うんですけれども、決して不足しているというふうには考えておりません。

それとあと、委員仰せのとおり来年度から助成交付金がまた出るということで、補助されるということなんですけれども、今後も児童生徒がおいしく食べられる、満足できるような給食にするために、メニュー、献立等は随時考えていきたいというふうに考えております。

○大門委員長

中川委員。

○中川委員

工夫をお願いしたいと思います。国のほうから入ってくるお金が、給食費に充実ということで使われないでほかのほうに行ってしまうというのはまたあれですので、そこはちょっと工夫していただきたいと思います。これは要望としておきますので。

○大門委員長

佐々木委員、ちょっと待ってくださいね。

間もなく12時になりますが、この質疑が終わるまで続けてよろしいでしょうか。休憩に入ったほうがよろしいですか。

（「続けましょう」の声起こる）

○大門委員長

続けていいですか。

じゃ、佐々木委員、お願いします。

○佐々木委員

すみません。参考までにお聞きしたいんですけれども、肥料代を補助するということで、

販売している農業従事者だけということを知っているんですけども、その販売している人が86人で法人が12件で、大阪府の制度にのっかって大阪府が1万円補助したら河南町は5千円補助するという形だと知っているんですけども、販売されている方は大体どれぐらいの売上げがあるのか聞いてもいいですか。

大阪府の補助、一例で言ったら100万円売り上げている人には府は1万円補助して町が5千円補助するというふうに知っているんですけども、大分少ないようにも……。100万円も売り上げている個人がどれぐらいいるのか、それで法人は平均的にどれぐらい売り上げているのか、それは河南町が把握しているのかどうかお聞きします。

○大門委員長

森農林商工観光課長。

○森まち創造部副理事兼農林商工観光課長併農業委員会事務局長

こちらのほうの予算を組むに当たりましてまず参考にさせていただきましたのは、前回、令和5年度に交付させていただいた実績、また直近の課税データのほうから見込みを立ててもらいました。

先ほどの個人の86件のこちらのほうで見込んでおります内訳でございますが、売上げのほう、100万円以上300万円という方で54件、300万円から500万円というところで12件、500万円から1千万円というところで17件、1千万円以上という方で3件というふうに、これは見込みでございますが、実際、こちらのほうの対象となる所得のほうは令和7年中の売上げでございます、これから申告等されるので見込みで組ませていただいているところでございます。

法人のほうの12件でございますが、こちらのほうはなかなか把握しにくいところがございましたが、平均の想定の上乗せとして1千万円から3千万円ぐらいかなというところで11社ぐらい、あと、ちょっと多いところがあったらあかんということで、5千万円以上1億円未満というところで1社の計12社というような形で、その府の販売区分の2分の1という想定で組ませていただいております。

以上でございます。

○大門委員長

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大門委員長

なければ、議案第40号、令和7年度河南町一般会計補正予算（第8号）の委員の質疑は終結いたします。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○大門委員長

これより、委員会としての討論、採決を行います。

それでは、議案第40号、令和7年度河南町一般会計補正予算（第8号）の討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大門委員長

なければ、討論を終結いたします。

次に、採決を行います。

議案第40号、令和7年度河南町一般会計補正予算（第8号）を原案どおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○大門委員長

挙手全員と認めます。

よって、本案は原案どおり可決すべきものと決しました。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○大門委員長

以上をもちまして、予算・決算常任委員会に付託を受けました議案第40号の審査は終了いたしました。

この後開催されます臨時会議において、ただいま決しましたとおりご報告を申し上げます。
本委員会中、字句等の修正がございましたら、委員長のほうで修正させていただきたいと思しますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

なお、議長を除く全議員が委員となっておりますので、委員長報告としては簡潔に行いたと思います。委員各位におかれましては、よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

議長、最後に何かございますか。

○浅岡議長

特にございませんが、この後、臨時会議の続きを1時10分から開催したいと思いますので、皆さんよろしく願いいたします。

○大門委員長

では、以上をもって予算・決算常任委員会を閉会いたします。皆様お疲れさまでした。

午後0時03分閉会

~~~~~

委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

予算・決算常任委員会委員長